

広報

しんじょう

5
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.569

ISO14001

14年7月認証取得



新庄カド焼きまつり(4月29日～5月5日/最上公園)

市民認識度調査2

最上広域事務組合予算5

シリーズ新しい市役所づくり6

オープンキャンパス8

江戸だより/いきいき新庄人9

しんじょう見聞録10

5月のお知らせ12

将来を見ずえた人づくり14



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

市民認識度調査の結果がまとまりました

あなたは市の政策について どう考えますか？

市は、平成十八年度から始まる第三次振興計画・後期五カ年基本計画の策定を進めています。時代の変化に対応したまちづくりを進めていくための「新庄市づくりの指針」となるものです。計画の策定に先立って実施した「市民認識度調査」の結果がまとまりましたのでお知らせします。



集約状況

■ 回答率	90.3% (2,257人)
■ 内 訳	有効回答率 89.5% (2,238人) …… 集計対象
	無効回答率 0.8% (19人) …… 白 票
	調査不能率 9.7% (243人)
■ 調査不能 内 訳	転 居 5人 (0.2%)
	不 在 43人 (1.7%)
	住 所 不 明 24人 (0.9%)
	拒 否 167人 (6.7%)
	そ の 他 4人 (0.2%)

調査の概要

「平成十六年度新庄市民認識度調査」は、新庄市に住所がある満十八歳以上の男女二千五百人を対象に実施しました。

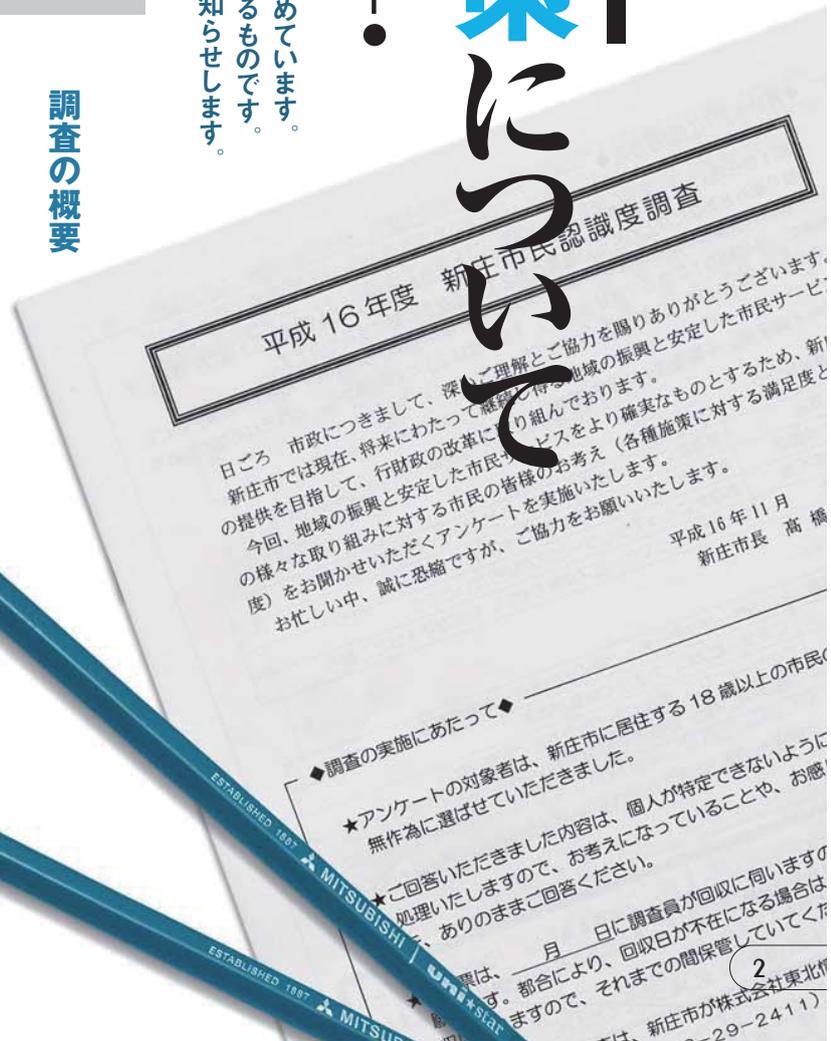
市がこれまで取り組んできた施策・事業について市民の皆さまがどのように考えているか(満足度)、これから重点的に取り組んでいく必要がある施策・事業はどのようなものかと考えているか(重要度)について明らかにするためです。市の施策ごとに満足度と重要度を回答していただき、それぞれの度合いを客観的に比較するため加重平均値を算出し、これを指数と

して数値化しました。(※注)

満足度は？

満足度の高さは、4点満点中1.97から2.79までとなっています。(表1)

満足度指数が高い順に、「文化の振興」「開かれた市政運営の推進」「社会教育の充実」「市民生活の安



回答結果を比較しました

(加重平均値)

※注【計算式】

■満足度指数=[点数×回答者数]の合計÷[総回答者数-無回答者数]
 (「満足」=4点、「やや満足」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点)

■重要度指数=[点数×回答者数]の合計÷[総回答者数-無回答者数]
 (「とても重要」=4点、「重要」=3点、「やや重要」=2点、「重要でない」=1点)

表-1 満足度は？

順位	施策・事業	指数
1位	文化の振興	2.79
2位	開かれた市政運営の推進	2.74
3位	社会教育の充実	2.71
4位	市民生活の安全確保	2.70
5位	保健・医療の充実	2.64
6位	生涯スポーツの振興	2.63
7位	農林業の振興	2.62
8位	地球にやさしい地域社会の形成	2.62
9位	学校教育の充実	2.60
10位	福祉の充実	2.59
11位	生活環境基盤の整備	2.58
12位	地域と人づくり	2.53
13位	計画的なまちづくりの推進	2.40
14位	健全な財政運営	2.31
15位	行政サービスの維持向上	2.30
16位	都市基盤の整備と雪のふるさとづくり	2.28
17位	商工業の振興	2.10
18位	雇用開発の推進と労働環境の整備	1.97
	満足度指数の平均値	2.51

表-2 重要度は？

順位	施策・事業	指数
1位	保健・医療の充実	3.42
2位	雇用開発の推進と労働環境の整備	3.40
3位	福祉の充実	3.35
4位	都市基盤の整備と雪のふるさとづくり	3.30
5位	学校教育の充実	3.28
6位	地球にやさしい地域社会の形成	3.27
7位	健全な財政運営	3.24
8位	市民生活の安全確保	3.21
9位	商工業の振興	3.12
10位	行政サービスの維持向上	3.07
11位	生活環境基盤の整備	3.01
12位	開かれた市政運営の推進	2.94
13位	農林業の振興	2.90
14位	計画的なまちづくりの推進	2.84
15位	社会教育の充実	2.74
16位	地域と人づくり	2.68
17位	文化の振興	2.65
18位	生涯スポーツの振興	2.59
	重要度指数の平均値	3.06

全確保「保健・医療の充実」となっています。

逆に、満足度が低いのは、「雇用開発の推進と労働環境の整備」「商工業の振興」「都市基盤の整備と雪のふるさとづくり」「行政サービスの維持向上」「健全な財政運営」の順となっています。

重要度は？

重要度の高さは、4点満点中2.59から3.42という結果になりました。(表-2)

重要度指数の高い順に、「保健・医療の充実」「雇用開発の推進と労働環境の整備」「福祉の充実」「都市基盤の整備と雪のふるさとづくり」「学校教育の充実」となっています。

逆に、重要度指数が低いのは、「生涯スポーツの振興」「文化の振興」「地域と人づくり」「社会教育の充実」「計画的なまちづくりの推進」の順となっています。

ニーズ(必要)度は？

政策ごとに満足度と重要度の関係を表したのが次頁表-3です。横軸は満足度、縦軸は重要度の高さを表しています。平均値を境に

右へ向かうほど満足度は高く、左へ向かうほど低くなっています。

また、上へ向かうほど、重要度は高く、下へ向かうほど低くなっています。今回の調査では、重要度指数から満足度指数を引いた数値を施策・事業のニーズ(必要)度として算出しました。

最重要課題は「雇用と労働環境」

重要度が高く、今後、特に重点的に推進すべきとされた施策は、「雇用開発の推進と労働環境の整備」「都市基盤の整備と雪のふるさとづくり」などの五項目です。具体的には、雇用・就労対策、雪対策、中心商店街の活性化、健全な財政運営などがあげられています。

満足度は高いものの、今後も重点的に推進すべきとされた施策は、「保健・医療の充実」「福祉の充実」などの五項目で、具体的には、夜間および救急診療を含む医療体制の充実、保育サービスの充実や一人暮らし・高齢者世帯等への支援、廃棄物減量対策、教育現場の充実、災害に強いまちづくりなどです。

満足度が低下しないよう継続して取り組むべきとされた施策は、「生活環境基盤の整備」「農林業の

あなたは市の政策について どう考えますか？

表-3 満足度と重要度

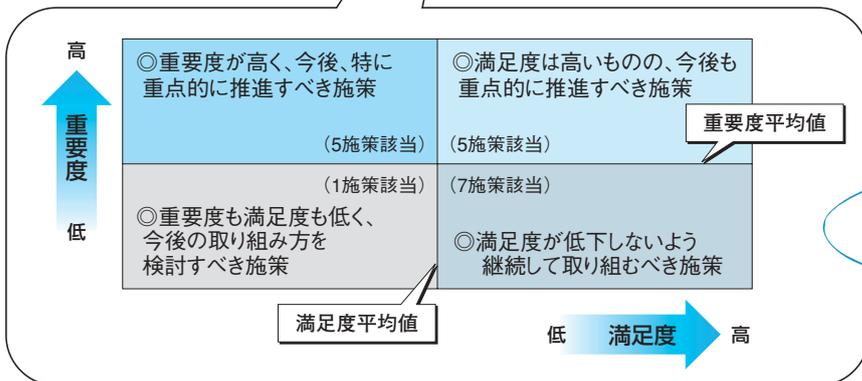
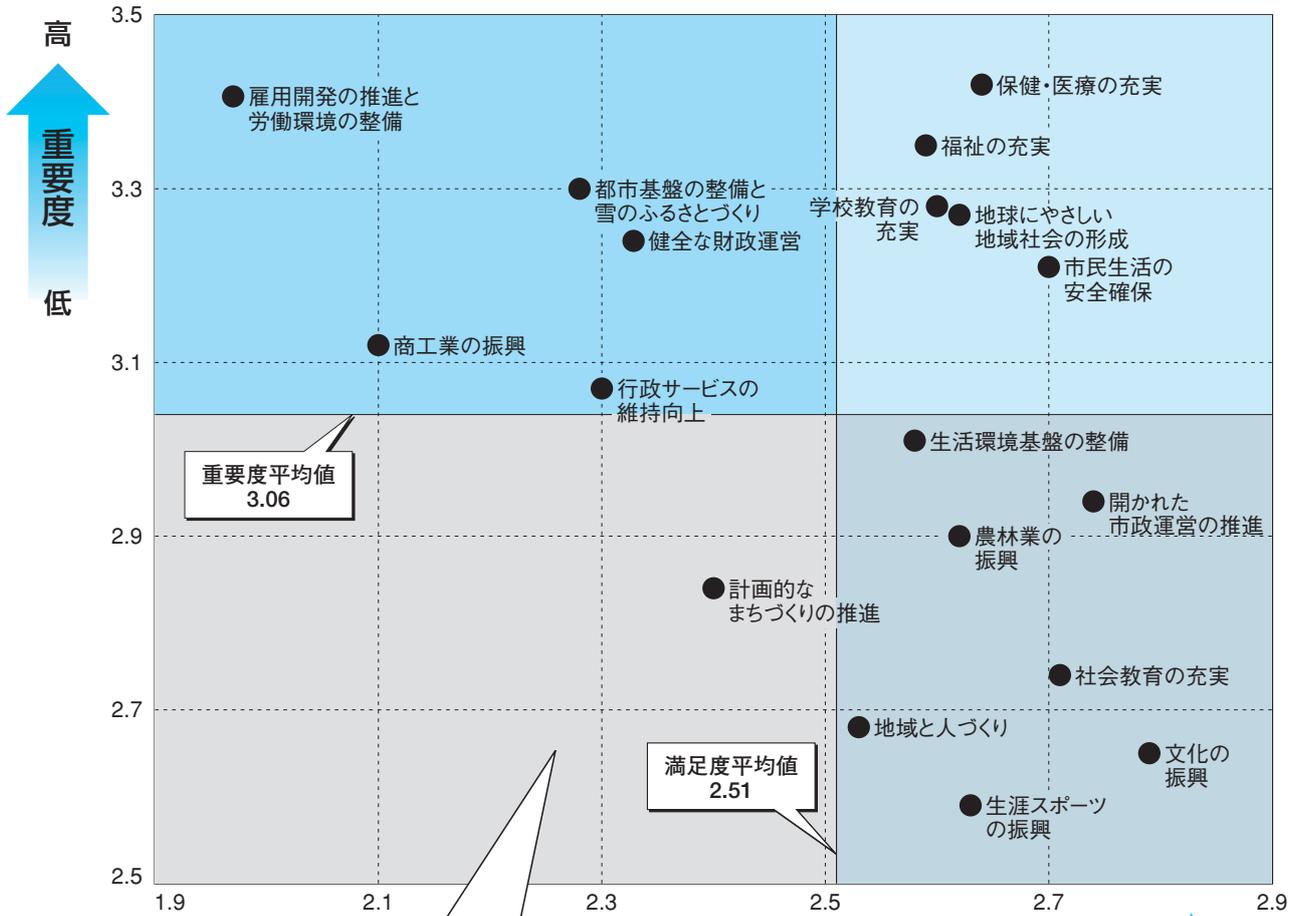


表-3の見方です

市政に市民の目線

市は現在、第三次振興計画・後期五カ年基本計画(平成十八年度(二十二年度)の策定を進めています。これは、時代の流れや社会経済の大きな変化の中で、今後も発展し続けていくための、これからの新庄市づくりの指針となるものです。

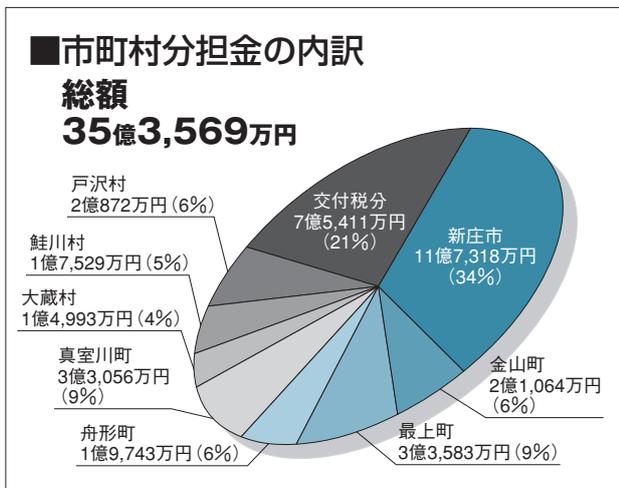
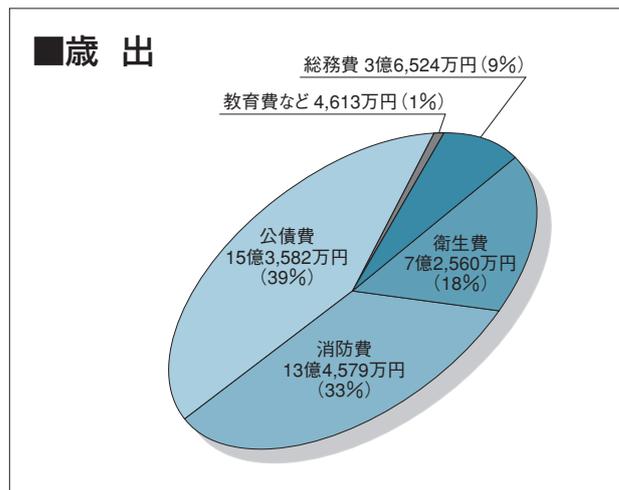
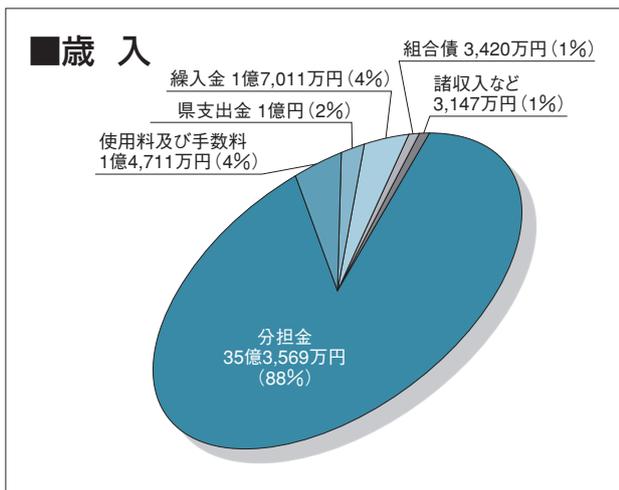
今回の調査結果は、この第三次振興計画・後期五カ年基本計画や、市勢発展のための基盤づくり、現在進めているプロジェクトの推進などに十分活用し、市民の目線に立った行政運営に役立てていきます。

◎ご意見ご要望をお寄せください。詳しくは、政策経営課企画政策室へ。☎内線241

最上広域市町村圏事務組合からの お・知・ら・せ

最上広域市町村圏事務組合では、最上8市町村が共同して消防、ごみ・し尿処理、ゆめりあの管理運営などの事業を行っています。

■平成17年度一般会計当初予算 40億1,858万円(前年比1.7%増)



広域組合の平成17年度当初予算は総額40億1,858万円。16年度予算と比較して6,966万円、1.7%の増額になっていますが、市町村分担金は546万円減額になっています。増額になった要因は、エコプラザもがみ(ごみ焼却施設)の償還(借金返済)が始まったことによるものです。

経費節減のためにも、分別の徹底やリサイクルの推進などによるごみ減量にご協力ください。

一般会計の主な事業

- 広域交流センター(ゆめりあ)運営事業…7億2,201万円
- エコプラザもがみ(ごみ焼却施設)運営事業
……………5億7,595万円
- リサイクルプラザもがみ運営事業 ……4億7,716万円
- もがみクリーンセンター(し尿処理施設)運営事業
……………4億4,834万円
- 最上衛生事業所(し尿処理施設)運営事業
……………7,635万円
- 消防・救急業務運営事業 ……13億9,275万円
- 教育研究センター運営事業 ……4,344万円

分担金以外の主な歳入

- 使用料及び手数料 ……1億4,711万円
- 【内訳】
- 広域交流センター(ゆめりあ)使用料 ……2,446万円
- へい獣処理手数料 ……213万円
- ごみ処理手数料 ……1億1,388万円
- し尿処理手数料 ……564万円
- 消防手数料 ……100万円
- 県補助金 ……1億円
- 物品売払収入(リサイクル物品等)
……………1,299万円

ふるさと市町村圏事業特別会計の主な事業

- 少年少女沖縄派遣交流・もがみ大産業まつり開催事業
など ……608万円
- ◎詳しくは、最上広域市町村圏事務組合へ。 ☎22-2674

で発進

切りました。今、市に求められているのは、組織のスリム化とわかりやすく、親しみやすい市役所づくりです。市役所づくりの取り組みを紹介していきます。

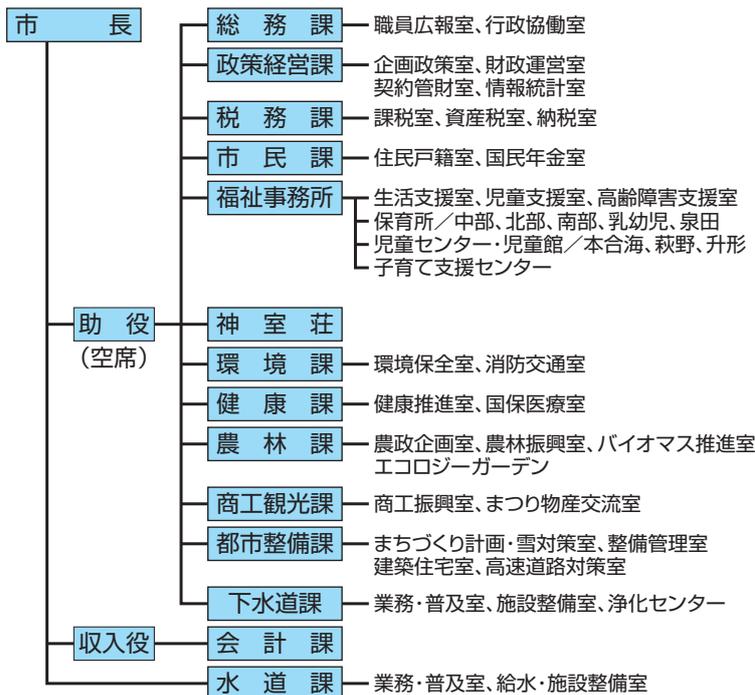
市職員人事異動

4月1日現在)

職員総数 **377名**

○収入役／森 嘉昭 ○教育長／佐藤 博

新庄市行政組織機構図 I



- 住居番号の付番、住居表示証明などの住居表示
..... 都市開発課 → 市民課
- 市道の区画線、照明灯、防護柵の設置
..... 環境課 → 都市整備課
- 認定農業者などの農業振興
..... 農林課・農業委員会 → 農林課
(担当課を一元化)

職場紹介

市役所を良くしよう! 若手職員が行革提案

行政改革推進本部会議において、20～30歳代の若手職員全員による改革プロジェクトチームを編成しました。【市民のための市役所】をキーワードに、若手職員の視点から「市役所には何が必要なのか」「何が足りないのか」について約2カ月間にわたり検討を重ね、今年2月に市長に提案しました。

市民の視点から利用しやすい市役所をつくっていくための考え方を話し合い、テーマごとに改善方法をまとめました。主な提案テーマは次のとおりです。

- お客さまを迎える姿勢で来庁者にやさしい窓口を構築する
- 「行政はサービス業」であるという意識をもつ
- 迅速・ていねいな応対や接遇を向上させ利便性を図ることで真のパートナーシップを実現していく

これらのテーマに対する51項目にわたる提案項目の中で、できるものからすぐの実施しました。

●窓口のワンストップサービスの実施

転入・転出する方の窓口手続きをわかりやすく、迅速に行うため、3月22日から4月8日までの繁忙期に、市民課フロアに福祉事務所と健康課の臨時窓口を開設して利便性の向上に努めました。(業務内容/福祉事務所=児童手当の受付、健康課=乳幼児医療証、母子家庭等医療証、重度心身障害(児)者医療証の受付発行)

●フロアマネージャーの設置

市民課では、来庁したお客さまがすぐわかるよう、誘導し、手続きのお手伝いをするため、市民課長がフロアマネージャーを務めています。

●市庁舎の案内表示の改善

正面玄関に、来庁者が多い課の案内板を設置しました。

●ネームプレートの更新

応対する職員に対する安心感・信頼感を持っていただくため、4月からネームプレートを名刺サイズの大きなものに変更し、見やすくしました。

これからも、市民の皆さまが利用しやすくなるよう「市民の視点」「市民の目線」から検討を重ね改善していきます。

※次回からは、市役所の各職場を紹介していきます。

◎詳しくは、総務課行政協働室へ。☎内線218



▲若手職員の市役所改革プロジェクト

公益活動

国際交流ボランティア Smile(スマイル)

(代表・柴田理佐さん)

新庄・最上地域には、国際結婚・企業研修・留学などのため現在750人を超える外国人が暮しており、年々増加する傾向にあります。

この地域での国際化は、深刻な嫁不足を背景とした国際結婚から始まり、これまで、外国人への支援は主に行政主導で進められてきました。市民プラザ主催の国際交流ボランティア養成講座(平成11年度～14年度)に参加した受講生が集まり、15年に結成した国際交流ボランティアグループがわたしたち「Smile」です。Smileは地域の実情に合った国際交流ボランティアのあり方を探るため地域の現状について学習しながら、実践活動を通して企画力・運営力を養い、在住外国人と地域住民との交流を図っています。

新庄・最上地域では、外国人花嫁の増加に伴い、言葉の壁による悩みを抱える家族も増えています。これまで市主催の日本語教室が開催されてきましたが、16年度は、山形県国際交流協会から活動支援を受け、Smileが日本語教室を開催し、家庭内での相互理解や生活習慣・文化の理解を通して、これまで以上に地域社会でのコミュニケーションが図られるよう支援しています。

また、外国人のための生活情報も不足しています。日本語教室参加者を対象にアンケートを実施したところ、最も要望が高かったのは健康に関する情報提供でした。このため、市内の病院・医院にアンケートを依頼し、在住外国人の協力のもと、5カ国語(英語、中国語、ハングル語、ポルトガル語、タガログ語)への翻訳作業を進めており、まもなく発行の予定です。

交流の機会を提供するため、交流会やレクリエーションなども企画・運営しています。日ごろ交流の少ない受講生どうしはもちろん、わたしたちスタッフにとっても地域の多文化社会の現状を実感できる貴重な機会となっています。

これからの地域社会における国際化は、行政主導ではなく、ボランティアやNPO(非営利活動団体)などの「市民」が主体となって行わなければなりません。また、行政サイドも予算の有無などとは関係なく、場所や活動に必要な情報の提供などの支援に努めていく必要があると思われます。

そういった市民と行政との信頼関係のもと、地域のさまざまなボランティア・市民団体とも交流しネットワークを広げ、広域的・効率的に活動していきたいと思えます。

◎活動に関する問い合わせ／柴田☎22-4809

※このコーナーでは、公益(＝社会貢献)をめざし活動している市民団体の取り組みを紹介していきます。



▲交流会

新体制

4月から3課減らした21課体制に再編し、新年度のスタートを効率化。そして、市民の皆さまに今回から、市民との協働に向けた新しい

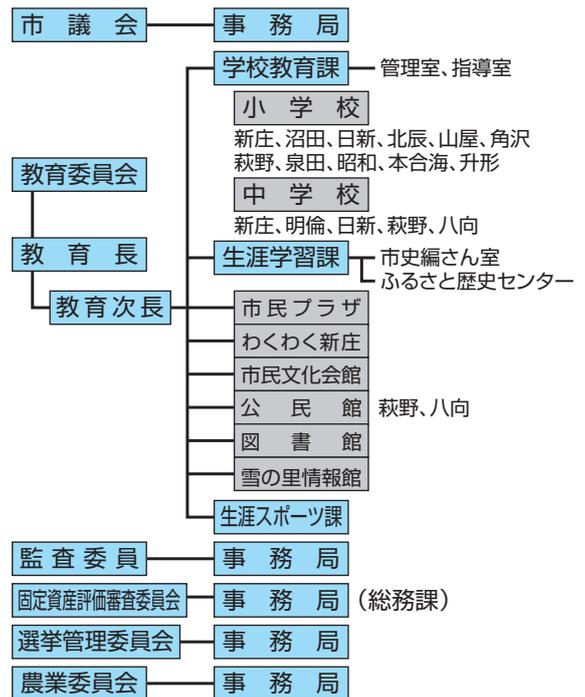
平成17年度

(平成17年)

異動総数 183名

○市長／高橋榮一郎 ○助役／空席

新庄市行政組織機構図Ⅱ



担当課がかわりました

- 市報などの広報、市民の意見を聴く広聴
..... 企画調整課 → 総務課
- 市民・団体・行政の協働推進
..... 企画調整課 → 総務課
- 区長..... 企画調整課 → 総務課
- 消費者相談..... 商工観光課 → 市民課

山形大学エリアキャンパスもがみ開設記念事業 市民プラザに大学祭がやってくる! ～オープンキャンパス in 新庄～

最上地域における教育の発展と地域振興を目的として、4月から「山形大学エリアキャンパスもがみ」がスタートしました。皆さんにより身近な大学となるよう、子どもからお年寄りまで来て・見て・感じてもらえるイベントを予定しておりますので、ぜひ足を運んで体全体で山形大学を感じてみてください。お待ちしております。

●とき **5月21日**(土)午後1時～5時
22日(日)午前10時～午後3時

●ところ 市民プラザ全館

◎詳しくは、山形大学エリアキャンパスもがみ事務局(最上広域教育研究センター内)へ。
☎22-1057

サークル発表ゾーン

- ダンスサークル「四面楚歌」
- 吹奏楽団
- ジャグリング部
- アカペラサークル「Smile」
- お笑いサークル
- 絵画部
- 奇術愛好会

アカデミックゾーン

- 山大サイエンスワールド「南極の石に触ってみよう」
- サイエンスセミナー「南極体験記」(理学部地球環境学科)
- 異文化交流講演会(人文学部・阿部宏慈教授)
- おもしろ科学実験教室(地域教育文化学部・津留俊介教授)
- 出張講義「ロボット技術を山形から」(工学部・水戸部和久教授)

交流ゾーン

- 沼田小学校区親子茶道部・北辰小学校茶道クラブと山形大学茶道部との交流お茶会
- 日新小学校鼓笛隊パレード(ゆめりあ～市民プラザ)
- 表現あそびサークル「チャレンコ」発表会
- 外国人留学生による料理教室
- 外国人留学生向け授業「最上地域の冠婚葬祭」
- 医学部OB桑山紀彦氏「地球のステージ公演」
- 出張インフォメーションセンター大学紹介パネル展
- 入試情報・相談コーナー

栄光をたたえて

「あじさいを育てる会」が大臣表彰受賞!

市の花・アジサイを広めようと活動を続けている「あじさいを育てる会」が、第16回「みどりの愛護」功労者として国土交通大臣表彰を受賞しました。県内からは1団体のみの受賞で、4月23日に大阪府で開催された全国みどりの愛護のつどい式典で表彰されました。長年にわたる公園緑化などのボランティア活動が高く評価されたものです。

あじさいを育てる会は、昭和63年に青年会議所を中心に市内15団体が参加して発足。昭和59年に制定した市の花・アジサイを広めようと、これまで最上公園に2万3000株を植栽し、現在のあじさい園の造成に大きく貢献。また、あじさい展や写生展、茶会、生け花展、フォトコンテストなど多くの催しを行い、アジサイを市内外に広くアピールしてきました。

また、昨年7月には、東山公園・あじさいの杜で「あじさいまつり」を開催。野だて茶会や写真撮影会、ダンス・パフォーマンスなど多彩なイベントを繰り広げ、多くの人々を楽しませ、アジサイの普及に貢献しています。



▲今年も7月3日(日)あじさいの杜で開催予定の「あじさいまつり」

健康メモ

5月31日は世界禁煙デーです

5月31日はWHO(世界保健機関)が定めた「世界禁煙デー」、そして6月6日までの期間は禁煙週間になっています。

平成14年度の国民栄養調査(20歳以上)によると、喫煙率は、男性43.3%で長期的には減少していますが、女性は10.2%で40歳以下では増加傾向にあります。新庄市の16年度人間ドック・基本健診を受けた40歳以上の方の喫煙率は、男性36.4%、女性6.2%。その中で、禁煙したいと思っている人は13.2%となっています。

タバコは200種類の有害物質を含み、肺がんや多くのがんで死亡する危険性が高いといわれています。しかし、禁煙すると危険度は禁煙10年ほどでタバコを吸わない人と同じレベルに近づきます。禁煙が困難なのは意思が弱いからではなく、ニコチンの禁断症状があるからです。禁断症状を和らげるため、医療機関ではニコチンパッチ・ニコチンガムを処方する方法が実施され効果を上げています。市でも禁煙相談を実施しており、5人の方が禁煙継続中です。

15年の健康増進法施行、17年のたばこ規制に関する世界保健機関枠組条約の発効により、受動喫煙防止の対策が進められています。自分と周りの方の健康のため、禁煙にチャレンジしてみたいはかがでしようか。

○禁煙相談/毎月第3金曜日午前9時30分～11時30分/保健センター

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

わが心の桃源郷「新庄」

◆新庄藩江戸家老菅根 勇さん
(東急車輛製造(株) 顧問)

東京に住んで四十七年。最近、とみにふるさとを懐かしく感じます。歳をとって望郷の念が重なるからでしょうか。出張のため東京駅に行き「新庄行き」のアナウンスを聞けば身も心も奮い立ち、出張先での仕事があまく予感がします。

わたしの仕事は、東急車輛製造で新幹線や電車を製造販売しています。その会長は戸澤正実公の孫である戸澤孝壽氏。横浜商工会議所副会頭の要職にあります。本物の殿の下での仕事の毎日です。名刺は常に二枚用意し、江戸家老の名刺を出すことは好転します。お会いする方はいづれも各社の要職の方々に「めずらしい名刺ですね」と興味を引く大看板です。難しい製品の話は棚上げして、お国自慢に花が咲き、盛り上がり



ます。
新庄の四季の中でも五月は特に素晴らしい。風土と歴史をひもとけば、義経伝説から芭蕉

まで小説のように連なります。皆さんの興味・関心の的は温泉、山菜、そば街道と、もう話は止まりません。五月には、桜・梅・桃も一気に満開。カド焼き大会の花見酒。堀端のぼんぼり。田植えが終わりあぜにカエルの声。わたしの一人舞台となり伝道師の域です。

皆さん、感心し、あきれ、土産を期待されます。地酒や菓子を持参を約束すれば仕事は成約。宴会で「有名な新庄ばやしでも」と言われ、オンチなのにしかたなく「昔、戸澤の八万石よ・・・」と歌い出さともう爆笑。「なに、それ歌う御詠歌?」とあきれられて爆笑が重なります。お開きに約束の地酒や漬物などを土産に出すと「新庄に今度行きますよ。東急採用決定!」。笑顔で「またチエレンゴ聞かしてね・・・」の声。

こんな縁で、今、新庄中核工業団地の全国拡販が公団と東急リバブルで進み出しました。
今、胸中によりみがえるのは、国許・高橋市長の「ぞうり取り、十番出世の江戸家老」。殿様・戸澤会長の「ふるさとに錦かざりし黄門(顧問)さん」。ふるさとは心の桃源郷!

いきいき
新庄人

ホームページで新庄を紹介

菅原富喜さん(堀端町)

「ボランティアで新庄の観光ガイドをしています。新庄・最上の良さを効率よく紹介するには、これからはインターネットだと思いました」と語る菅原さんは、新庄・最上の自然や観光を全国で紹介するホームページ「かむろ」(<http://www.kamuro.info>)を開設しました。

「10年ほど前に市が開催したIT講習会を受講し、パソコンの基礎を習いました。それまではアルファベットにも苦戦していましたが、講習後はワープロソフトを中心にパソコンを使っていました。登山は20代のころから始め、自然の中に身を置くことの素晴らしさに魅了されました。国内外の山に登り、72歳になった今でも月1回は山に登り、体力に応じた登山を楽しんでいます。また、山に登った感動を下界に持ち帰る方法として写真を始めました。山登りや写真は、すでに何十年も続けていますが、最近のインターネットの普及で自分の写真を表現する場の一つとして地域向けのホームページを開設し、写真展などを紹介していました。その後、趣味から一歩踏み出し、新庄・最上から全国的に誇れる自然や観光スポットを紹介したいと思いホームペー

ジ「かむろ」を開設しました。

また、公務員を退職後、地域への恩返しではありませんが、地域を愛する心と若いころから培ってきた知識を生かし役に立てたらと思ひ、新庄ボランティアガイド協会の会員として新庄・最上の自然を案内しています。新幹線などで訪れた観光客から「何かおいしいものは?」「おみやげは?」「3時間くらいあるけどいいところはない?」などのリクエストを受け、市内のお店を公平に紹介しています。自分たちの都合ではなく来た人の立場になって、またここに来たいと思ってもらえるような「もてなしの心」を持って接しています。

新庄の良さはなんといっても自然です。季節の移り変わりがはっきりしているのも、四季折々の自然を存分に満喫できる場所だと思います。都会にはない本物の自然があります。これからも観光ボランティアガイドとして、この地域の美しい自然を紹介し、発信し続けたいと思います」と穏やかに語る菅原さんには、郷土を愛する熱い思いが感じられます。



聞録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲131年の歴史の中で最後となった入学式(4月8日/角沢小)



▲「城下町しんじょう探訪講座」の市内旧跡巡り(4月13日)



▲地域総合スポーツクラブも参加した第5回100円商店街(4月23日/中心商店街)



▲折下吉延氏記念石碑の建立除幕(4月23日/最上公園)



▲作家・高橋克彦氏が講演した「義経北行伝説が導く世界」(4月23日/市民文化会館)



▲「義経伝説」をテーマにした創作銘菓の発表会(4月25日/ゆめりあ)

感動あふれる一年に

来春、日新小学校への統合が予定されている角沢小学校(本多一彦校長)で最後となる入学式が行われました。131年の歴史の中で初めてとなる2人の新入生に学校長から教科書が授与され、市長や教育振興会長、PTA会長からお祝いの言葉が送られました。角沢小36名の児童は、今年を思い出に残る感動的な一年にしようと誓い合いました。

しんじょう歴史探訪

ボランティアガイド育成のための「城下町しんじょう探訪講座」の現地研修が観光ガイド協議会の主催で開かれました。6回の講義の仕上げとして、桂獄寺や旧矢作家住宅、義経が休んだとされる判官神社など、市内の史跡13カ所を巡り、歴史や文化を学びました。講座参加者の中から新たに1人がガイドを目指し勉強中です。

最上公園に石碑を建立

最上公園の「心字池」前に新庄藩ゆかりの造園家・折下吉延氏の記念石碑が建立されました。これは、新庄あじさいロータリークラブ(甲州則雄会長)が創立10周年を記念して折下氏の功績をたたえようと建立したものです。折下氏は明治神宮の森の造営や山下公園(横浜市)の新設など多くの功績を残し、昭和2年から5年まで「心字池」の改修工事を監修しました。

「義経伝説」を銘菓に

新庄・最上地域に残る数々の義経伝説をテーマに創作した銘産菓子の新作発表会が開かれました。義経・弁慶ブームの折、新庄まつり250年祭などへの誘客を図ろうとJR新庄駅(矢口信一駅長)が市内の菓子店などに呼びかけ、賛同した7店舗が試食会を重ねながら開発を進めてきました。和菓子風の菓子はどれも好評で、観光PRへの期待がかかります。



新庄まつり大事典

企画展「新庄まつり大事典＝百の問答集」がふるさと歴史センターで始まりました。会場には、新庄まつりについての素朴な疑問に答える百の問答パネルが、歴史・山車・人形・みこし・はやし・まつりの各編ごとに展示。また、山車の飾り物や人形の衣装、太鼓・笛・鉦・三味線、ミニチュア山車も展示され、一足先に新庄まつり一色に染まっています。6月27日(月)までの開催。



▲「新庄まつり大事典＝百の問答集」(4月27日～6月27日／ふるさと歴史センター)

行政相談委員に委嘱

行政相談委員は、国や公団などへの苦情・要望・意見など相談を受け、相手機関の自主的な改善が促されるよう働きかける仕事をしています。新庄市では次の方が国から委嘱されました。

【再任】

本澤昌紀さん(万場町) ☎22-1164

高倉良子さん(宮内町) ☎22-2062

◎詳しくは、総務省山形行政評価事務所へ。

☎023-632-3113



▲山形県縦断駅伝競争大会新庄ゴール(4月27日／市役所前)

栄光をたたえて

■第22回新庄・最上地区春季ロードレース大会

【一般の部／10km】①渡辺利彦(最上町教委)

②井上徹(高坂ダム)③前田信一(JR東日本)

④齊藤伴和(新庄市教委)⑤乙村直人(真室川町教委)

⑥菅野学(山形県庁)

【高校の部／10km】①池田大貴(東海山形)②

小野智彦(金山)③笹原翔太(東海山形)④黒坂

浩平(新庄北)⑤黒坂洋平(新庄北)⑥佐藤由高

(金山)

【中学の部／3km】①桂田佳輝(及位)②渡邊慎

吾(舟形)③奥山克也(最上)④菅高邑(最上)

⑤中嶋祐樹(八向)⑥福井翔平(最上)

【女子の部／3km】①佐田美穂(最上中)②菅友

絵(最上中)③奥山歩(萩野中)④吉田美里(新

庄北高)⑤外崎恵美(日新中)⑥外崎理紗(新庄

南高)



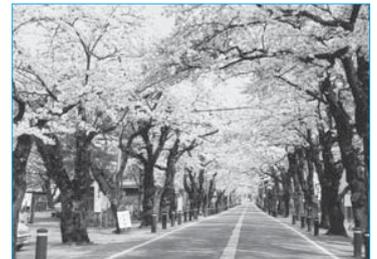
▲新庄・最上地区春季ロードレース(4月3日／東山～関屋)



▲御堀端自治会などが花見前に公園清掃(4月23日／最上公園)



▲満開の桜(5月1日／本合海・芭蕉乗船の地)



▲咲きそろった桜(5月1日／泉田桜通り)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

第21回春の山草展

○5月28日(土)午前9時～29日(日)午後4時
○市民プラザギャラリー
◎新庄山草会・新国 ☎22-2108

募集

市民プラザから

ペン習字入門

▼対象 成人20人

▼とき 6月～10月第1・3木

▼曜日 午後7時～9時(全10回)

▼内容 日常生活に生かせる実践的な学習

▼講師 斎藤宏さん

▼受付 5月16日(月)から

はつらつカラオケクラブ

▼対象 高齢者60人

▼とき 6月～18年3月の第3水曜

▼時間 午前9時30分～11時30分(全10回)

▼内容 なつかしい歌をみんな

▼で歌う ▼講師 香沢良夫さん

▼受講料 2,000円

▼受付 5月23日(月)から

ピアノ弾き込みボランテニア

市民プラザに備えているグラ

ンドピアノの音質など性能を維

持するため、弾いてくださる方

を募集します。

▼とき 7月～18年3月の月

▼1 回数程度月～木曜日夜間2

▼時間程度 ▼定員 若干名

▼受付 5月16日(月)から

初心者のための写真教室

▼対象 高校生以上の初心者

▼で毎回受講できる人

▼とき 6月16日(木)～10月13

▼日(木)の月1回(9月は2回)木

▼曜日 午後7時～8時30分、

▼日曜日 午前10時～午後3時

▼ところ 市民プラザなど

▼受講料 高校生 1,000円

▼円、一般 1,500円

▼定員 先着20人

▼申し込み 5月21日(土)～31

▼日(火)市民プラザへ

◎新庄写真連盟・吉田

☎23-3058

初心者テニス教室

▼対象 どなたでも(初心者)

▼とき 5月24日(火)～6月7

▼日(火)の毎週火・木曜日午前10

▼時～正午(全5回)

▼ところ 近岡テニスコート(南

高北側) ▼受講料 2,000円

▼円(別途保険料1,500円)

▼申し込み 随時

◎梧葉テニスガーデン・大場

☎29-2786

めざせJリーガーキッズスクール

▼対象 未就学児童

▼とき 6月～18年3月の毎

新庄まつり観覧席(アビエス) 6月1日(水)から電話受付開始

8月24日(水)宵まつり	全席	1,000円
8月25日(木)本まつり	スタンド席	1,000円
	スタンド以外	無料(整理券が必要)
8月27日(土)記念パレード	全席	1,000円

○受付 午前8時30分から(電話のみ)
○予約専用電話 22-7722
※有料観覧席は満席になり次第締切ります。25日無料観覧席の整理券は7月以降に配布します。(詳細は後日お知らせします)7月27日以降の取り消しは、雨天中止でも返金しません。
◎詳しくは、新庄まつり委員会(新庄商工会議所内)へ。 ☎22-6855

神室山系登山会

○対象 体力に自信のある人(先着50人)
○とき 6月5日(日)午前6時～午後5時
○集合 市役所前駐車場
○コース 火打ち新道口～西火打岳～火打岳(往復)(現地までバス送迎)
○参加費 1,500円(保険料など)
○申し込み 5月27日(金)まで
◎詳しくは、商工観光課まつり物産交流室へ。 ☎内線252

軽自動車税の減免

身体などに障害のある人のために使用する軽自動車の税金は、一定の要件のもと申請により減免される場合があります。
○申請期限 5月24日(火)
◎詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線141・153

地価公示価格

用途	所在地	価格(㎡)	変動率
住宅地	大町12-14	43,900円	△ 5.6%
住宅地	下金沢町13-25	36,500円	△ 4.5%
住宅地	小田島町6-8	49,500円	△ 5.9%
商業地	本町3-39	84,900円	△ 9.6%
商業地	沖の町1-5	96,200円	△10.1%

(平成17年1月1日現在)
◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。 ☎内線242

夜間パソコン講座

▼月コースワード・エクセル / 初級～上級(9講座)
▼とき 5月23日(月)～12月5

◎023-647-0303
◎雇用能力開発機構山形センター
▼定員 20人 ▼申し込み 6月2日(木)までハローワーク新庄へ

OAビジネス基礎科 受講者

▼対象 雇用保険受給資格のある求職者 ▼とき 6月16日(木)～9月8日(木) ▼ところ アドデザインパソコンスクール(金沢)
▼内容 簿記実務、パソコンでの会計・表計算 ▼受講料 無料(別途テキスト代)
▼定員 20人 ▼申し込み 6月2日(木)までハローワーク新庄へ

◎22-7294
◎キッズプロジェクト・森 ※アシスタントも募集中

賛助会員募集

国際交流協会は、国際交流・協力活動や情報提供、在住外

◎22-2111
◎鮭川村観光協会
▼対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴) ▼とき 6月5日(日)午前8時～午後3時30分 ▼参加費 1,500円
▼定員 先着100人
▼申し込み 5月27日(金)まで

まぼろしの滝・与蔵の森 探検ツアー(トレッキング)

◎29-2121
◎新庄コンピュータ専門学校
▼定員 各20人
▼とき 6月(月)のうち各6回いずれも午後6時30分～9時
▼ところ 新庄コンピュータ専門学校 ▼受講料 各12,000円(別途テキスト代)



FJCジャズコンサート

○6月3日(金)午後6時30分開演
○市民プラザ ○出演 辛島文雄トリオほか
○入場料 3,500円
○F.J.C ☎22-9505

5月のお・知

催し
など

「産直まゆの郷」山菜まつり

- とき 5月29日(日)
午前9時30分～午後6時
 - 内容 山菜・農産物販売、焼きおにぎり・アイスクリーム屋台、先着200人に花苗プレゼント
- ◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課バイオマス推進室 ☎内線267へ。

出張無料税務相談

- とき 5月27日(金)午前10時～午後3時
 - ところ 市役所西庁舎市民相談室
 - 内容 所得税、消費税、相続税、資産の譲渡などの国税について
 - 対応 仙台国税局税務相談室酒田分室
- ◎いずれも詳しくは、税務課課税室へ。
☎内線142

年金相談

社会保険事務所では、年間を通して毎週月曜日に相談時間延長、毎月第2土曜日に休日相談を行っています。

- 受付時間 月曜日/午後7時まで(月曜日が休日の場合は翌開庁日。10月31日のみ午後5時まで)、第2土曜日/午前9時30分～午後4時
- 持ち物 年金手帳または身分を証明できるもの

◎詳しくは、新庄社会保険事務所へ。
☎22-2050

交通事故無料相談

専門の相談員が無料で相談に応じます。

- 相談日 平日午前9時～午後5時
- 弁護士相談 毎月第1・3水曜日午後1時～4時(予約制・相談無料・要面談)

◎詳しくは、山形自動車保険請求相談センターへ。
☎023-633-0589

図書館臨時休館

図書整理のため図書館を休館します。

- 期間 5月30日(月)～6月6日(月)

※5月31日開催予定の「絵本の読み聞かせ」は中止になります。図書の返本は、玄関脇のブックポストをお願いします。
◎詳しくは、市立図書館へ。 ☎22-2189

▼対象 小学3年生以上
▼期間 7月下旬～8月下旬(8日～21日間) ▼コース アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、サイパン、カンボジア、ミャンマーなど
▼参加費 13万円～48万円
▼申し込み 6月8日(水)まで(コースにより異なります)
☎03-33359-8421

▼とき 5月27日(金)午前10時30分(15分前に集合)
☎内線546

▼とき 7月9日(土)午前9時30分開始 ▼ところ 商工会議所 ▼申し込み 5月26日(木)～6月16日(木)
☎新庄商工会議所 ☎22-6855

お祭り歯っぴい

～歯の衛生週間イベント～
○とき 6月4日(土)午前10時～正午
○ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
○内容 ブラッシング指導、フッ素塗布、歯科検診・相談(すべて無料)、「かやのみ会」お楽しみショー(景品あり)
○主催 新庄地区歯科医師会

献 血

～献血は身近なボランティア～
○とき 5月25日(水)
午後1時30分～4時
○ところ 県立新庄病院
◎いずれも詳しくは、健康課健康推進室へ。 ☎内線514

夏休み海外派遣事業

☎023-647-2560

身体障害者巡回相談

▼対象 肢体と聴覚に障害のある人 ▼とき 6月6日(月)午後1時30分～3時(受付は2時30分まで) ▼ところ 保健センター ▼内容 補装具の無料相談、身体障害者手帳の交付相談 ▼持ち物 補装具、身体障害者手帳、印鑑
☎内線546

甲種防火管理者資格取得講習会

▼とき 6月23日(木)、24日(金)いずれも午前9時～午後4時
▼ところ 最上広域消防本部
▼テキスト代 3,000円
▼申し込み 6月10日(金)まで
☎最上広域消防本部予防課 ☎22-7521

市営住宅入居者募集

団地名	間取り(畳)	家賃
北新町団地(1戸)	6・6・4	12,000～19,900円
玉の木団地(1戸)	6・4.5・3	8,300～13,700円
小椋室団地(2戸)	8・7.5・6	24,900～41,200円
	7.5・6	19,900～33,000円

○資格 次のすべてに該当する人
①現在住宅に困っている、②同居親族がいる(婚約者可、50歳以上単身可)、③収入基準に合う、④税金の未納がない
○申し込み 5月26日(木)～6月2日(木)
○受付時間 午後5時まで(6月1日、2日は午後7時まで)
◎優先入居により抽選がなくなる場合があります。詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。 ☎内線523・524

お知らせ

▼ところ 市役所3階会議室
▼持ち物 印鑑・免許証
※当日中止になる場合もあります。
☎税務課納税室 ☎内線149



「将来を見すえた人づくり」

「いのち輝く新庄もみの木教育プラン21」は、平成十七年から二十六年まで十年間にわたる市の長期教育プランです。今回は、「心の教育」を土台とする学校教育について計画が目指すものを紹介します。

いのち輝くたくまじい「新庄っ子」を育てます

「いのち」の尊厳を根底にすえた「心の教育」を重要な課題として取り組んでいきます。すべての「いのち」を大切に思い、自分の生き方を考え、相手への思いやりをもった心を育んでいくことが大切です。

また、新たな課題として、子どもたちを取り巻く「食」や「安全」に関する問題もあり、その対応について具体的な検討を進めていきます。

これらの課題を解決していくため、学校・家庭・地域・社会教育・福祉など、互いに役割分担しながら、より一層連携を深め、子どもを育んでいきます。

○道徳教育と読書教育の充実

魅力的な道徳の授業づくりや全校体制で道徳教育を進めていきます。また、「朝読書」や「読み聞かせ」の奨励、図書館ボランティアや司書教諭により学校図書館を充実させ、子どもたちの感性と情操を育

んでいきます。

○体験的な教育活動の推進

地域の教材・人材・施設を活用し、郷土愛を育みます。また、実感を伴った学びを実現するため、自然・社会・勤労生産などの体験を積極的に取り入れていきます。

○基礎・基本の徹底と学力の向上

正しい学び方と教科書の基礎的な内容をすべての子どもに理解させるため、学習形態の工夫と教材開発に取り組んでいきます。

○命を守る健康教育の推進

健康相談や学校保健委員会を活性化し、性教育や薬物乱用防止教育に重点を置き、「いのち」の大切さを実感できる指導に努めます。学校敷地内の全面禁煙化も進めていきます。

○体力・運動能力の向上

運動に親しむ基礎を作るため、体育の授業を工夫し、体力・運動能力調査を活用しながら実態を踏まえたスポーツ活動を展開していきます。



▲ボランティアによる読み聞かせ(沼田小)

○食習慣の見直しと学校給食の充実

食生活の乱れを直すため、養護教諭や学校栄養士などの専門的な指導を充実していきます。また、検討委員会を組織し学校給食のあり方を探ります。

○情報教育の推進

教員の指導力を高めながらテレビやコンピュータなどを授業に積極的に取り入れ、子どもたちに正しい知識や情報モラルを身につけさせていきます。

○環境教育の推進

体験的・問題解決的な学習を通して、教育活動全体を通じた環境教育を展開していきます。また、「学校版環境—SOO」をスタートさせます。

○安全・安心な環境づくり

通学の安全を確保するため検討委員会を組織します。また、学校の耐震診断の実施や不審者対策を充実させ学校の危機管理体制を強化していきます。

(教育委員会)

新庄の歴史

こぼれ話

秀吉に拜謁した大森御前

新庄藩初代藩主・戸沢政盛は、数奇な運命をたどった。

父・盛安が、当時治めていた角館から、豊臣秀吉の小田原攻めに参陣。陣中、秀吉と対面した後、そこで病気になる急死してしまった。

その跡を継いだ盛安の弟(政盛の叔父)光盛もまた、秀吉の朝鮮出兵に従うため肥前(現在の佐賀・長崎県)に行く途中、姫路(一説に明石)で痲瘡(おぼろ)にかかり急死してしまった。

光盛の子はなかったため、戸沢家では存亡の危機に陥ったが、家臣たちは、急きょ、盛安の遺児で、母親とともに山伏のところで暮らしていた政盛を奪い連れ戻し、徳川家康のあっせんを得て秀吉に拜謁させ、光盛の家督を無事継がせることができたのである。

この秀吉拜謁の際に、政盛の実母が低い身分のため、養母として同伴したのが大森御前である。彼女の素性については諸説紛々で定かではないが、角館地方の榑岡城主小笠原光春(信光・光清とも。後に新庄藩重臣の榑岡家)の娘で、初め横手城主小野寺景道の二男大

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『東海林さだおの満腹大食堂』

東海林さだお

大人気の「丸かじり」シリーズのガイド本。うなぎ、ラーメン、カレーなど、厳選した50店舗を紹介した抱腹絶倒のエッセイ集。漫画家の著者ならではの大きな挿絵が楽しい。



● 今月のテーマ展示 ●

『2004年度市立図書館ベストリーダー』

昨年度貸出の多かった人気本を一堂に展示します。気になっていながら見逃してしまった本など、ぜひこの機会に読まれてはいかがでしょうか。2004年度に各賞を受賞した作品も同時に展示しています。

新着図書

- ◆ だいすきなゲー……………いもと ようこ
- ◆ もうよわむじじゃない……………宮西 達也
- ◆ みんなみんななかよし……………つちだ よしはる
- ◆ にっこりねこ(世界の絵本) ……エリック・パトゥー
- ◆ それはすごいなりっぱだね! ……たかはし かずえ
- ◆ 雨と夢のあとに……………柳 美里
- ◆ 山古志村のマリと三匹の子犬 ……桑原 真二
- ◆ 骨肉……………明野 照葉
- ◆ 終わりからの旅……………辻井 喬
- ◆ 恋愛函数……………北川 歩実
- ◆ 冒険家先生の課外授業 ……大場 満郎
- ◆ 私を変えた一言……………原田 宗典
- ◆ 作家・田沢稲舟 一明治文学の炎の薔薇……………伊東 聖子
- ◆ むこうだんばら亭……………乙川優三郎
- ◆ 私の夢俺の希望……………瀬戸内寂聴
- ◆ デセプション・ポイント(上・下) ……ダン・ブラウン
- ◆ 古道具中野商店……………川上 弘美
- ◆ 国家の罨 一外務省のラスプーチンと呼ばれて……………佐藤 優
- ◆ この絵本が好き! 2005年版・別冊太陽編集部
- ◆ 帯留 一日本のおしゃれ……………池田 重子
- ◆ とげ……………山本 甲士
- ◆ 十四番目の月……………海月 ルイ
- ◆ るるぶ愛知万博へいこう!……………JTB
- ◆ ビバ★いなかもん!……………永浜 敬子
- ◆ 東京秘図 一西南の役異聞……………渡部 房男
- ◆ 放送室 その2……………松本 人志
- ◆ みみずくの夜メール 2……………五木 寛之
- ◆ 落し紙以前……………斎藤 たま
- ◆ 東京・鎌倉有名人お墓お散歩ブック……………カジボン・マルコ・残月

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

安全・安心なまちづくり

～新小っ子見守り隊～

地域や関係団体が連携して子どもを事故や犯罪から守り、安全で安心なまちづくりを推進しよう」と新庄小学校区安全・安心まちづくり推進協議会」の立ち上げ式が行われました。

新庄小学区では、平成十六年度から最上総合支庁の「安全安心まちづくり推進事業」の指定を受け、PTAの協力による安全マップの作製や、児童と地域の人を対象にした安全教室、町内会による声かけ運動などを行ってきました。今年度は、地域との連携を一層強化するため推進協議会を組織。「新小っ子見守り

隊」も発足し、おそろいのベストが贈呈されました。

見守り隊は、学校・PTA・県・市・区長・民生児童委員・交通安全母の会などで構成され、登下校時などに学区内をパトロールし、「見守り運動」を行うものです。

隊のメンバーは、立ち上げ式終了後、初登校となった新生一年生の下校指導につき添い、「車に気をつけて、歩道から飛び出さないでね」と声をかけながら子どもをそれぞれの家の近くまで送り届けました。

見守り隊に参加した人は「黄

緑色のベストを着たわたしたちの存在を子どもたちや地域にアピールすることで、防犯や事故防止にいくらかでも役立てられればいいなと思っています」と話しています。

子どもを交通事故や犯罪などから守り、安全・安心な生活環境をつくるには、いくには、地域ぐるみの取り組みが何より大切です。



▲見守り隊による下校指導(4月11日/新庄小前)

森(五郎)康道に嫁いたが、後離婚し、その後、光盛と婚約していたと思われる。彼女は、容姿・心根とも大変美しい人で、謁見した秀吉も彼女を気に入り、政盛が田舎じみていることもあって、母子ともにしばらく大坂(一説に京都)に滞在せよ、として、三年ほど現地で暮らしたという。

新庄に戻ってから、彼女は新庄藩士であった兄の家(松本)の隠居室に住んでいたが、そこが火事になり、秀吉から拝領した品々も残らず焼失したという。なお、彼女の墓も初めはそこにあつたが、後年、榎岡家で、瑞雲院に墓を新たに建立したという。その墓は、焼け寺(瑞雲院)に今も残っている。(市史編さん室)

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～

究極の山車を求めるの図



が山車のこと。確か、昨年の祭りが終わってすぐ、「来年の題目決まったよ」と言っていた。

秋も冬も話題はいつも山車のこと。「小物づくりにはアルミホイル」「思いついた時、書きとめる」。小森さんのくなるほどは事欠かない。総力を上げての制作も間もなくか。今年も、息をのむような山車の予感がする…。

(絵と文)加藤良哉

桜の開花とともに、新庄まつりへ向けてようやく動き出した各町内。そんな中、太刀6本、鎧袴など、すでに仕上げた人がいる。躍進著しい川西町若連、小森さんである。山車にかける情熱、優れた制作技術、歌舞伎を愛し、本物の山車を追求する。瀟洒な茶店の店主でもあり、時々寄らせてもらう時、いつも話題になるの



見・所・探・訪

鳥越八幡神社

～国重要文化財(昭和61年指定)～

鳥越八幡神社は、市東南の旧鳥越楯跡にあり、古くから鎮守の神として祭られてきた神社である。現在の社殿(本殿)は、新庄藩祖戸沢政盛の養子定盛が江戸初期の寛永15年(1638)に造営したもので、最上地方では最も古い建物の一つ。もとは荒小屋集落の西側にあったが、定盛が鷹狩りの折に鷹に逃げられ、近くの八幡神社に祈念したところ願いがかない鷹が戻ってきたので、そのお礼として、城下が一望できる鳥越の高台に新たに造営したといわれている。

表紙の写真

新庄の春、満喫!

～新庄カド焼きまつり～

春告魚とも呼ばれるカド(ニシン)を焼き楽しむ新庄の春の風物詩“カド焼き”。春まつり行事として新庄観光協会が市民に呼びかけ、昭和49年に復活。連休期間中、会場の最上公園では、満開となった桜の下、多くの人々が新庄の春を味わい、春の喜びを分かち合いました。



3月末現在の新庄人

40,894人(41,285人)

女	21,344人(21,531人)
男	19,550人(19,754人)
世帯数	13,318世帯(13,356世帯)

3月の異動

出生	36人(38人)
死亡	45人(29人)
転入	212人(277人)
転出	542人(482人)

※()は1年前の住民基本台帳